



子どもたちにものづくりのワザを見せるワークショップ

「子どもたちにモノづくりの技術やワザのすごさを伝えたい」という思いを持つ地元の中小企業が中心となり、産官学金が連携して始まったのが「みせるばやお」の活動の原点です。八尾の企業の特徴を活かしたワークショップを季節ごとのテーマを設けて開催し、小学生に社会見学の場合、中学・高校生向けにキャリア教育の学びの機会を提供し、2018年の発足から、ワークショップを1983回開催、延べ11万4670名の来場者が訪れています。

### ■「みせるばやお」の発足

八尾市は、中小企業を中心に、高度な技術力と製品開発力を誇る「ものづくりのまち」です。ものづくりの魂を次世代にも紡ぎ、そしてこの地域の魅力を後世の子どもたちにも伝えるため、2018年5月に地域内

## まちむら発見①

# 世代を超えた「共創」が未来をつくる!

## —中小企業の社長たちが生み出した創造の場—

大阪府八尾市 みせるばやお



おもちゃ作りを楽しみながら技術力を伝える

外の中小企業、大企業と金融機関を中心に、大学、地域住民が集結し、その活動母体として「みせるばやお」が発足、始動しました。

「みせるばやお」では、設立当初から「誰もがいつでも気軽にクリエイティブを」を合言葉に、多くの中小企

業を抱える「人材育成」の課題に対して、地域の自立的解決を促進するため、地域の人々や子どもも含めた地域全体の人材育成に向けた、以下の取り組みを行っています。

### ■世代を超えた「共創」の取り組み

#### 1. 『経営者・社員育成』の取り組み

「良いものは他社から学び取り入れる」をもとに、多くの企業が変革に取り組んできました。経営者と従業員に対して行ってきた、企業の枠を超えた幅広い視野を持つものづくり人材育成の取り組みを実施しています。

#### 2. 『起業家育成』の取り組み

八尾市との連携事業として、起業家の体験談を聞きながら起業の疑問点・不安を解消する「やお創業ゆるっ

とカフェ」を毎月開催しています。起業した人の苦労話や身近な話を聞きながら、起業家同士の交流とネットワークづくりの場所となっています。

3. 『若者にもものづくりの魅力を伝える』

(大学との合同プロジェクト)

大学生に対して地域の中小企業のものづくり技術や魅力を伝えるため、2018年度より近畿大学経営学部文能照之教授のゼミと「みせるばやお」会員企業のコラボレーション・プロジェクトを実施しています。

4. 『子どもがものづくりの楽しさを体験する』

(教育委員会との連携プロジェクトを含む)

子どもたちから大人まで、ものづくり体験できるワークショップを、これまでに1000回以上開催してきました。主催企業が独自に企画し、材料の提供と指導を行い、ゴム製品事業を行う錦城護謨(株)が企画したワークショップでは、ゴム会社ならではの素材を活かしたおもちゃ作りを楽しみながら、同社の主要製品であるゴムの機能や技術力を子どもたちに伝えました。

5. 『地域活性化・魅力発信』(オープンファクトリー「FactorISM (ファクトリズム)」)

設立当初からの願いでもある「まちにあるこうば自体がみせるばやおになる」という目標のもと、広域オープンファクトリープロジェクト「FactorISM」を2020年度からスタートしました。初年度は、八尾市、東大阪、堺市、門真市、尼崎市の5市35社が参画し、「こうばはまちのエンターテイメント」を合言葉に、ビジネス来訪者と一般来場者向けの工場見学やものづくり体験ワークショップを行い、町工場のものづくりの魅力



ものづくりの現場を公開し、五感で体験体感してもらう



「こうばはまちのエンターテイメント」を合言葉にイベント「FactorISM」を開催

を発信しました。

イベントを通して、自社のものづくりのレベル、職人の技能の高さを再認識することとなり、社員・職人のモチベーションの向上につながるとともに、本取り組みによって企業と地域の距離が一挙に縮まり、地元企業に対するファンづくりにも大きく貢献しました。

■ 取り組みの成果と未来に向けて

「地域貢献を通じてものづくり企業が身近に」

みせるばやおにはB to C向け商品開発に挑戦する企業が出品するショップがあり、ワークショップに参加し、企業を知り、商品のファンをつくり出すことで、他へ発信する好循環が生まれています。子ども向けのワークショップは家族でもものづくりを楽しむきっかけとなっており、地域の住民の中小企業を見る目が変わり、シビックプライド(市民が自分の住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの都市を形成している1人であるという認識)の醸成につながっています。

この取り組みが評価され、2025年に開催される大阪・関西万博の会場に建設される「大阪ヘルスケアピリオン」において中小企業・スタートアップ企業の出展を支援する事業企画(リボンチャレンジ)に、自治体で唯一、八尾市の事業提案が認定されました。

地域の将来を支える子どもたちに、ものづくりの楽しさを伝える活動からスタートした取り組みは、大阪・関西万博への出展も足掛かりとして、「未来志向の人材育成モデル」である「みせるばやお」の活動を世界に発信していきます。(八尾市役所産業政策課 岡田和樹)